

在鸣门 第138期

「板東俘虜収容所」とその時代

第一次世界大戦時、中国青島戦場で捕虜となったドイツ人約1000人が、現在の鳴門市大麻町に設けられた板東俘虜収容所に送られました。当時、板東俘虜収容所所長である松江豊壽氏の人道的な配慮及び地元民のおもてなし精神のもとに、捕虜たちと地域住民との間で、産業、スポーツ、芸術などさまざまな交流が行われました。こうした中、アジアで初めてベートーヴェン作曲の交響曲第九番が板東俘虜収容所で全曲演奏されました。

第一次世界大战时期，在中国青岛战场沦为俘虏的约1000名德国士兵，被解送到了当时日本设立在鸣门市大麻町的板东俘虏收容所。当时，在板东俘虏收容所松江丰寿所长的人道主义特别关怀下，以及当地民众的“热情待客”的氛围下，俘虏们同当地民众进行了在产业、运动、艺术等诸多方面的交流。在此过程中，贝多芬作曲的第九交响曲在收容所实现了全曲目演出，这是贝多芬第九交响曲的亚洲首演。

当時の良き思い出は現在まで継承され、徳島県とニーダーザクセン州、鳴門市とリュネブルク市との交流が今も益々深まっています。現在、4者共同で、板東俘虜収容所関係資料のユネスコ「世界の記憶」への登録に向けて取り組んでいます。

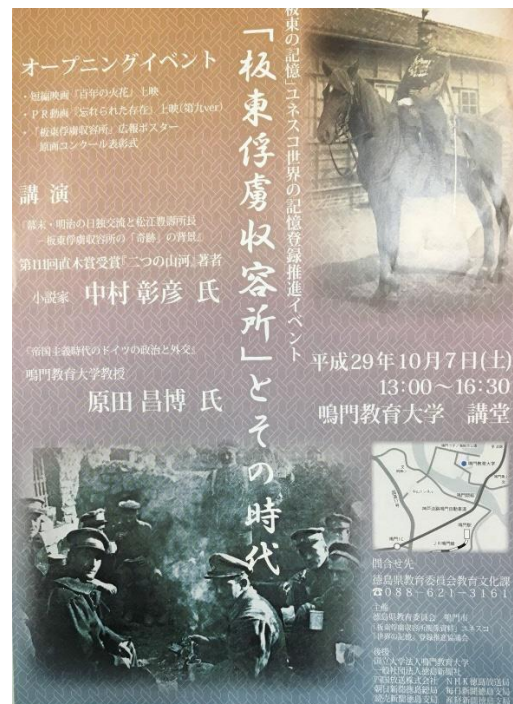
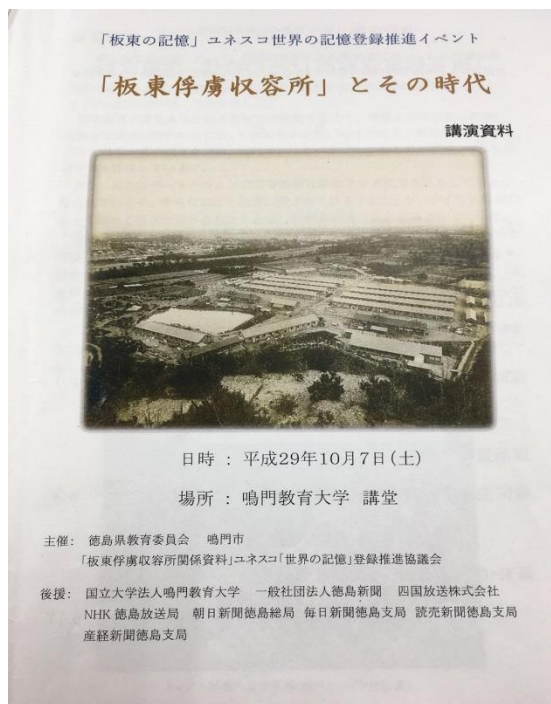
当时的美好记忆传承至今，德岛县与德国的下萨克森州、鸣门市与德国的吕讷堡市之间，各方友好交流在日益深入。现在，4方共同努力，正致力于将板东俘虏收容所的相关史料列入联合国教科文组织“世界记忆名录”的推进活动。

10月7日に、「板東の記憶」ユネスコ世界の記憶登録推進イベントの一環として、『「板東俘虜収容所」とその時代』という講演会が鳴門教育大学の大講堂で行われました。

10月7日，作为推进“板东记忆”列入联合国教科文组织世界记忆的活动之一，在鸣门教育大学的大讲堂内举行了题为“板东俘虏收容所与其时代背景”的演讲大会。

鳴門教育大学教授の原田昌博先生と歴史小説家中村彰彦先生の講演を通じ、第一次世界大戦に至るまでの歴史背景と、板東俘虜収容所での「奇跡」の出来事の背景を更に詳しく勉強することができました。

鳴門教育大学教授原田昌博教授和历史小说家中村彰彦先生的演讲，进一步加深了我对第一次世界大战的历史背景，以及板东俘虏收容所相关事迹的历史背景的了解。



民族、宗教や立場などさまざまな対立のある現在、この板東俘虜収容所で起った歴史の奇跡を心に刻んで、友愛と平和の世界を願っています。

在民族、宗教、立场等诸多对立依然存在的现今，在将板东俘虏收容所发生的历史奇迹铭记于心的同时，也愿世界永远友爱和平。

「福永家住宅」一般公開で昔の製塩の様子を覗く

10月15日、国指定文化財「福永家住宅」の一般公開を見に行きました。鳴門市に来てから、製塩が鳴門市の重要な産業の一つであり、昔の製塩施設がいまだに残っていることを知り、一般公開をずっと心待ちにしていました。建物の中には、藁で出来た屋根が弱そう

に見えています、つい最近の台風も乗り越えていて、思った以上に丈夫でびっくりしました。ボランティアガイドさんの説明を聞きながら、製塩の様子が頭の中に浮かんできました。工程が複雑で、大変な作業だと思いました。時代の発展に伴い、効率が追及され、昔の製塩が時代から姿を消しましたが、当時の発展に大きい貢献をしてくれたことは忘れてはいけないと思います。

10月15日、我去参观了日本国家指定文化财产“福永家住宅”。来到鸣门之后，我了解到制盐业是鸣门的一大重要产业，曾经的制盐设施“福永家住宅”至今仍有保留。因此，我一直很期待去参观“福永家住宅”。到了目的地之后，我被由稻草建成的屋顶震惊了，稻草屋顶经历了近期的几次台风之后依然完好，比我想象的要结实很多。在志愿者的解说之下，曾经的制盐情景逐渐显现在脑海之中。我感受到了当时的制盐工艺的复杂和作业的艰辛。随着时代的发展，在追求效率的趋势中，曾经的制盐工艺消失在了时代的潮流中，但是我们应该记住当时的制盐为当地发展做出的巨大贡献。



見た目が弱そうな屋根は、見学日の前の台風を乗り越えていて、実際には想像以上に丈夫でした。

乍一看弱不禁风的稻草屋顶，刚刚经历了参观日前不久的台风，实际超出预料地结实。

塩を煮詰める石釜は、具合良く築けた場合 20 日間ぐらい煮詰めることができ、24 時間火を絶えやすことなく炊き続け、釜の寿命が終わると、取り壊して改めて築きなおすということです。

据了解，煮盐的石锅，在建造状态良好的情况下，24 小时火源不断，可连续使用 20 天。石锅寿命终止后，则需捣坏石锅重新修建。



張家界訪問団来鳴訪問

10 月 23 日、張家界市人民代表大会常務委員会副主任呂毅様をはじめ、張家界市人大訪問団 6 名一行が来鳴しました。訪問団は鳴門市議会及び市役所の関係者と座談会を行い、観光分野などについて意見交換を交わしました。今後、両市の更なる交流のため、民間交流を深めたいとの話も出ました。座談会後、訪問団はボートレース鳴門、鳴門公園、JF 北灘さかな市、賀川豊彦記念館等を視察しました。張家界市人大訪問団は鳴門市の素晴らしい景色と鳴門市の管理成果を賞賛しました。

10 月 23 日，以张家界市人民代表大会常务委员会吕毅副主任为团长的访问团 6 人一行来访鸣门。访问团与鸣门市议会及市政府相关人员进行了座谈，就旅游观光等方面交换了意见，双方一致表示今后将进一步增进民间互访，加深双方交流。座谈会结束后，访问团对鸣门市赛艇竞技场、鸣门公园、鸣门市 JF 北滩鱼市场、贺川丰彦纪念馆等地进行了视察访问。张家界市人大访问团对鸣门市的优美环境及管理成果深表赞赏！



座談会で、観光分野の現状、在鳴中国人の状況などを話し合いました。

座谈会上，双方就旅游现状、在鸣中国人的情况进行了交谈。



張家界市訪問団は鳴門市を訪れた後、韓国の束草市へ移動し、そこで開催された2017年第16回アジアジョギング大会（10月26日から10月30日開催）に出席しました。そこで、10月29日、大会開催をかね、会員投票が行われました。張家界市は1132票で台湾の桃園市に勝ち、2019年第17回アジアジョギング大会の主催権を獲得したということです。皆さん、ジョギングに興味があれば、是非2019年の張家界で開催されるアジアジョギング大会に行きませんか。

張家界市訪問団在結束鳴門訪問之后，前往韩国的束草市，出席了在束草市举行的2017年第16届亚洲慢跑赛（10月26日至10月30日）。10月29日，通过会员投票，张家人市以1132票胜出台湾桃园市，成功争取到了2019年第17届亚洲慢跑赛主办权。对慢跑感兴趣的朋友们，欢迎光临2019年在张家人市举办的亚洲慢跑赛！



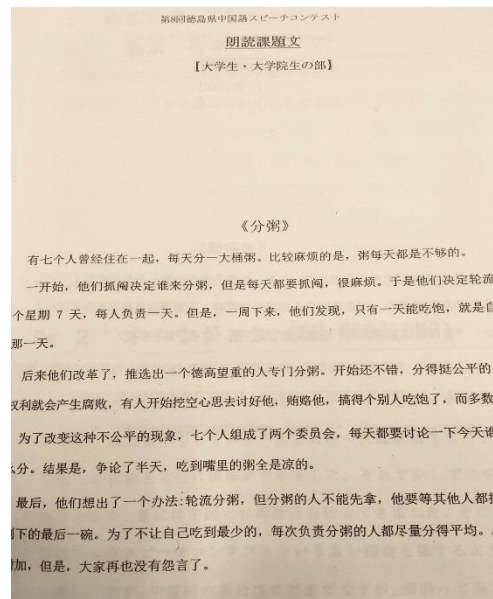
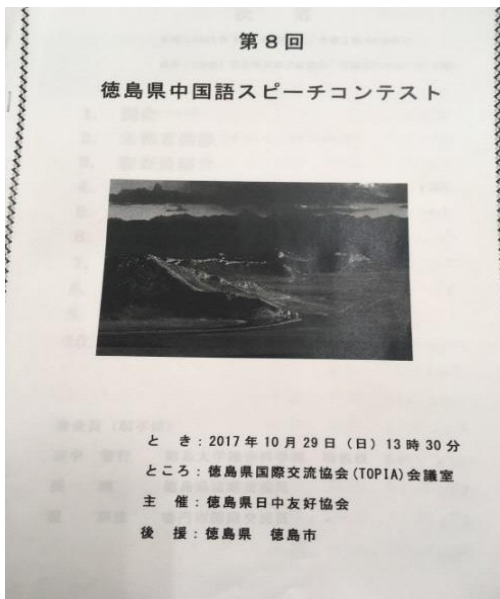
風雨に負けず 第8回徳島県中国語スピーチコンテスト開催

10月29日、第8回徳島県中国語スピーチコンテストが徳島県国際交流協会で行われました。私は、審査員として初めて今回のコンテストに出席しました。今回は、朗読部が20名、スピーチ部が5名の合計25名の参加者が集まりました。また、当日、ちょうど台風22号が接近していましたが、雨風の中、参加者を含めて大勢の人が来場いただき、皆さんの情熱に感動しました。

10月29日、第8届德岛县中文演讲比赛在德岛县国际交流协会举办。我作为评委首次出席了本次比赛。本次大赛中，朗诵部20名、演讲部5名，共计25名参赛选手。当天，正好遭遇22号台风“苏拉”临近德岛，风雨之中，除了参赛选手之外，还聚集了满场观众，会场气氛热闹。我不禁为大家的热情所感动。

参加者は高校生、大学生、社会人と幅広く、皆さんはそれぞれの切っ掛けで中国語の勉強をはじめ、そして中国についての理解を深めたそうです。皆さんは、学校訪問、音楽、考古学など、さまざまな分野で中国との友好交流に関わっています。私も、皆さんに習い、自分のできる限りの努力をして日中友好交流に励みたいと思っています。

参赛者涵盖高中生、大学生及其他社会人士。大家因不同的契机开始学习中文，进而加深对中国的理解。现在，大家在学校访问、音乐演出、考古研究等不同领域与中国进行着友好交流。我也会向大家学习，尽己所能为中日友好交流努力。



中国語の勉強も、日本語の勉強も、すればするほど難しくなりますが、言葉の面白さも分かってくると思います。私も聞いて、話して発見し、日本語を勉強し続けます。皆さん、一緒に頑張りましょう。

无论是汉语学习，还是日语学习，都会越学越难。但是，正因如此，我们在学习的过程中会发现语言的乐趣。在日期间，我也会多听多说多发现，继续学习日语。朋友们，让我们一起加油吧！

部门：鸣门市观光振兴课

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170
(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail

kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp

编辑：翟羽佳